

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月14日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 西本 安秀
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 石井 裕 (TEL) 03-3661-9631
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,566	30.8	36	—	33	—	41	—
2019年3月期第2四半期	2,726	5.4	△57	—	△55	—	△54	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	17.84		—					
2019年3月期第2四半期	△23.20		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,637	3,435	39.8
2019年3月期	8,814	3,452	39.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,435百万円 2019年3月期 3,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,372	21.8	211	13.1	154	△24.6	81	△27.5	34.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	2,378,740株	2019年3月期	2,378,740株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	26,853株	2019年3月期	26,661株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	2,351,975株	2019年3月期2Q	2,352,363株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善が進み、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移した。しかしながら、米中貿易摩擦の影響など、世界経済の動向や金融・財政政策に関する不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が続いている。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、首都圏を中心とした再開発工事及び東京オリンピック・パラリンピック関連工事などが終盤に差し掛かるなか、政府・民間ともに建設投資は堅調に推移した。その一方で工事従事者不足や資材価格高騰の影響による工事工程遅れなど仮設業界では厳しい環境が続いた。

このような状況の中、当社は仮設関連の需要に応えるべく保有機材の拡充や生産体制の強化に努め、住宅鉄骨部門の製造も順調に推移した結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,566百万円（前年同四半期比30.8%増）と増収となった。損益面においては、営業利益36百万円（前年同四半期は営業損失57百万円）、経常利益33百万円（前年同四半期は経常損失55百万円）、四半期純利益41百万円（前年同四半期は四半期純損失54百万円）となった。なお札幌営業所の閉鎖に伴い、固定資産売却益61百万円を計上している。

セグメントの経営成績は次のとおりである。

(仮設機材販売)

社会インフラ整備などによる建設需要は持続しているが、主力製品の売上が伸び悩んだものの、アルミ製階段用安全機材の製造の増加などにより、売上高は893百万円（前年同四半期比15.9%増）となった。滞留在庫の処分などによりセグメント損失は9百万円（前年同四半期はセグメント損失42百万円）となった。

(仮設機材賃貸)

枠組足場からくさび式足場の需要変化や材工一式現場の増加がレンタル需要に影響し、軽仮設機材は低稼働で推移したものの、売上高は1,237百万円（前年同四半期比5.5%増）となった。利益面では、システム機材の売却などによりセグメント利益は32百万円（前年同四半期はセグメント損失34百万円）となった。

(住宅鉄骨事業)

住宅鉄骨用部材の製造受託は順調に製造高が増加しており、売上高は1,436百万円（前年同四半期比83.3%増）の増収となった。利益面では、新工場の本格稼働のためのイニシャルコストがかさみ、セグメント利益24百万円（前年同四半期比5.9%減）となった。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末の総資産は8,637百万円となり、前事業年度末に比べ176百万円減少した。流動資産が3,717百万円（前事業年度末比145百万円減）、固定資産は4,920百万円（前事業年度末比31百万円減）となった。

総資産の主な減少要因は、売掛金が198百万円増加した一方で現金及び預金が183百万円、土地が107百万円減少したことなどによるものである。

(負債)

負債合計は5,201百万円となり、前事業年度末に比べ159百万円減少した。流動負債が2,949百万円（前事業年度末比759百万円減）、固定負債が2,252百万円（前事業年度末比599百万円増）となった。

負債の主な減少要因は、長期借入金749百万円増加した一方で短期借入金900百万円減少したことなどによるものである。

(純資産)

純資産合計は利益剰余金が16百万円減少したことなどにより3,435百万円（前事業年度末比16百万円減）となった。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年5月17日の決算短信で公表した予想を変更しない。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示するものとする。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,016	833
受取手形	362	271
売掛金	1,048	1,246
製品	817	743
仕掛品	186	228
原材料及び貯蔵品	329	351
未収入金	81	23
その他	20	20
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	3,862	3,717
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,082	2,062
減価償却累計額	△1,695	△1,691
建物(純額)	386	371
構築物	793	785
減価償却累計額	△596	△599
構築物(純額)	196	186
機械及び装置	1,871	1,573
減価償却累計額	△1,722	△1,432
機械及び装置(純額)	148	140
貸与資産	7,730	7,800
減価償却累計額	△7,123	△7,130
貸与資産(純額)	607	669
車両運搬具	61	61
減価償却累計額	△51	△54
車両運搬具(純額)	9	7
工具、器具及び備品	240	259
減価償却累計額	△219	△221
工具、器具及び備品(純額)	21	38
土地	3,177	3,070
リース資産	184	184
減価償却累計額	△128	△137
リース資産(純額)	56	46
建設仮勘定	—	39
有形固定資産合計	4,603	4,570
無形固定資産	9	18
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	66	57
その他	274	276
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	338	331
固定資産合計	4,951	4,920
資産合計	8,814	8,637

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	663	596
買掛金	486	639
短期借入金	1,650	750
1年内返済予定の長期借入金	500	643
未払法人税等	57	49
賞与引当金	25	20
役員賞与引当金	26	13
その他	297	236
流動負債合計	3,708	2,949
固定負債		
長期借入金	1,360	1,967
退職給付引当金	138	136
長期未払金	85	85
その他	68	63
固定負債合計	1,652	2,252
負債合計	5,361	5,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	508	508
資本剰余金	758	758
利益剰余金	2,213	2,196
自己株式	△27	△27
株主資本合計	3,452	3,435
純資産合計	3,452	3,435
負債純資産合計	8,814	8,637

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,726	3,566
売上原価	2,323	3,060
売上総利益	403	506
販売費及び一般管理費	460	469
営業利益又は営業損失(△)	△57	36
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
スクラップ売却益	1	—
受取保管料	1	—
受取地代家賃	2	2
支店移転補償金	—	3
受取保険金	3	—
雑収入	1	1
営業外収益合計	12	7
営業外費用		
支払利息	8	7
雑支出	1	2
営業外費用合計	9	10
経常利益又は経常損失(△)	△55	33
特別利益		
固定資産売却益	—	61
特別利益合計	—	61
特別損失		
営業所閉鎖損失	—	4
特別損失合計	—	4
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△55	89
法人税、住民税及び事業税	6	38
法人税等調整額	△6	8
法人税等合計	0	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54	41

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項なし。